



ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室

第 26 号

2018. 8. 20 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場

〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F 電話:042-686-0820

URL: <http://hachisoku.org> E-mail: hachisoku@gmail.com

郵便振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



福島のことを知ろう！ 2018 福島視察ツアー

ハカルワカル広場 鈴木 映子

「今年は福島に行こう！」ハカルワカルとして福島を訪ねることが決まったのは、1月の事務局会議でした。福島行きは日帰りでは難しく、測定室がどのような立ち位置で関われば良いか見えない部分がたくさんありましたが、実際に現地を見なければわからないという思いからの決定でした。

福島との足場をどこに置くか考えた時、障害のある方達の支援のために何度も福島に入っている高木千恵子さんに案内をお願いすることにしました。高木さんを通じ、今の福島が抱える問題のひとつ、仮設焼却場の問題を追っている和田央子さんともつながり、今回のツアーの形ができていきました。

初日、途中乗車の和田さんとも無事合流し順調な滑り出し。常磐道から国道6号に入り、最初に向かったのは廃炉作業等に必要の遠隔操作の技術を開発検証する「楡葉遠隔技術開発センター」です。中身はともかくそびえる建造物に圧倒される思いでした。

その後「富岡町最終処分場」へ。8000～10万Bq/kgの指定廃棄物が持ち込まれますが、入口付近で $1\mu\text{Sv/h}$ を越え、早速の驚きでした。マスクもせず一日立ち尽くす誘導員の姿に胸が痛かった・・・。

途中で何度も線量計が鳴るのを聞きながら国道6号を北上。

桜で有名な夜ノ森駅周辺は道の両側が帰還困難区域でバリケードが張られていました。

また「浪江町仮設焼却施設」はたくさんの方が津波で亡くなった請戸港のすぐ近く、町のあった跡に荒涼と広がる草原の中に建っていました。



楡葉遠隔技術開発センター



富岡町最終処分場



夜の森さくらトンネル



請戸港のすぐ近く





宿泊先の「双葉屋旅館」は 2016 年 7 月の避難解除に伴い小林さんご夫妻が営業を再開した旅館です。宿ではくつろぐ暇もなく連続講座でした。

食前は和田さんの説明。仮設焼却施設や実験施設に大手ゼネコンだけでなく軍需産業まで関わっているとのこと、驚きと絶望的な気持ちに包まれました。食後は、旅館の女将友子さんと原発で仕事をしてきた白髭さんのお話でした。20mSv 帰還政策に憤りながらもこの土地で生きる覚悟をし、少しでも良い方向を模索し続ける生き方に心打たれました。



翌朝、双葉屋さんを拠点に実践を積んできた「チェルノブイリ救援・中部」の河田昌東(まさはる)さんが偶然いらっしゃるとのことでお話を伺いました。内部被ばくを詳しく知りながら、この地で生きると決めた方達が少しでも安全に希望をもって生活できるよう、共に考え実践



している方のお話深い感銘をうけました。

その後河田さんや小林さんが立ち上げた「放射能測定センター南相馬」を訪問。「菜の花プロジェクト」の品々を買い込み、カンパも渡しました。



最後は吉沢正巳さんの「希望の牧場」へ。汚染され殺される運命だった牛 300 頭を今も飼ひ続け、エネルギーに訴えを続ける姿に励まされた思いです。



ハードなスケジュールとなってしまいましたが、福島にどう関わっていけば良いのか、少し見えたような気がして現地を後にしました。

写真 樋谷 正勝



和田央子さんのブログより
『6 月 16 日(土)八王子の市民測定室「ハカルワカル広場」の皆さんと浜通りのツアーを実施しました。……この日は駅前の双葉屋旅館へ宿泊。着いてすぐ夕食前に学習会。ようやくパワーポイントを使って詳細を伝えたところ、皆さんからびっくりするほどの拍手喝采をいただきました。』
浜通りをご案内いただいた和田央子さん、ありがとうございました。



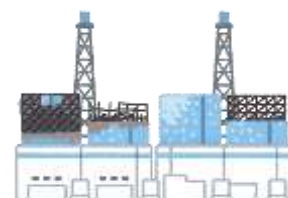
ハカルワカル広場主催 福島視察ツアー 参加者アンケート概要

今回の福島視察ツアーに参加した皆様からお寄せいただいたアンケートの一部を紹介いたします。ツアー全般への感想、ご意見のほか、3) ご自身と福島とのつながり、という観点からの声をお聞かせいただきました。

- 3) 福島は親類、友人も多く第二のふるさとのような所です。果物、野菜など美味しく、素敵な所です。復興に向けて頑張っている人達がいる中、何かをやらねばと思いつつも行動に移せない自分が情けない。(N.K.)
- とても中身の濃い2日間でした。現地で3とか5マイクロの線量表示を目の辺りにして、放射能の恐ろしさに改めてゾー！としました。お話を聞いた皆さんからは何故ここで暮らすか、放射能とどう付き合うか、今何を考えているか、皆に伝えたい、分かってほしいとの強い思いをひしひしと感じた。「避難を第一」に思う私の気持ちに変わりはありませんが…。河田先生のお話やマップ作りの素晴らしい実践は勿論のこと、「暮らしに必要な物、場所を測る」というお話に、まず何を大切にすることが本当に大切だと思いました。吉沢さんの口調は東京で聞く激しさを表に出さず、優しかったです。和田さんのお話は知らなかったことが多く、ショックでした。甲状腺ガンの子どものこと、治療のためのアイソトープの過酷さ。白石草さんの甲状腺ガンの話をきちんと知る機会が必要だと思います。人とのつながりを実感出来るツアーでした。(Y.K.)
- 3) がん治療のため1ヶ月以上右肩近くに放射線を浴びていましたが、合計どれだけ放射能を浴びたかわかりません。あれから4年経ちましたが、なんとか生きています。治療を拒否する力はありませんでした。(J.H.)
- 初めての福島ツアー。一人では出来ない、行けない内容でした。と同時に無残な事実が心に焼き付きました。これは人災だという強い想い。政治の方向が許しがたいです。
3) 福島の苦しみは他人事ではないという実感。国民一人一人が正しい危機感を持つべきです。(Y.U.)
- 3) 2日間にわたる福島ツアーは盛り沢山の知識と体験を与えてくれた。除染されたゴミやフレコンバッグはすっかりなくなっていた。24ヶ所もある最終処分場や中間貯蔵施設で無理矢理処分しているからだ。住民に知らせず、姑息な手段でこれらの施設が作られ、反対しても結局は国の政策が貫徹されている。双葉屋旅館の女将さんである小林さんは、除染を受け入れたことに問題があると言っていた。膨大な汚染の山ができ、その処理に莫大なお金がかかり、全国に汚染をばら撒くことになるからだ。しかしその中で、次世代によりよい社会を手渡すために、その地その地で精一杯抗う姿が見て取れた。真実を知るために測定を続けている人、売れるはずのない牛たちを飼い続ける牛飼いの吉沢さん。これらの人たちとつながり続けること、真実を発信し続けることの大切さを学んだ。(M.H.)
- やはり百聞は一見にしかず。ポケットとしている自分に活が入りました。線量計がピーピー鳴っていても、何も見えない放射能の怖さ。そのただ中に避難させられた人々の恐怖…。壊れたまま、放置されたままの家々。生活の営みがあったはずの所が、どこまでも続く草原になっているのはとてもショックでした。(F.O.)
- 仮設焼却場については少し知っていたが、和田さんの話でそれがいかに原発関連の企業を儲けさせるか、無駄なものにも使われているか、福島の人たちの健康をさらにむしばむことなどお構いなしか、よくわかった。イノベーションコースト構想より油菜の里構想を支持します。吉沢さんの「正しさは一つではない」という言葉が印象に残った。
3) 福島と沖縄にはずっと心を寄せていたいと思う。(Y.I.)
- 3) あれから7年、薄れかかっていた3.11を昨日のように感じた2日間だった。被曝地、汚染された地域で生活している方々の声。気張らずに土に根付き原発に向き合っている話を聞くことが出来た。エネルギー、社会と自分と対峙した時間だった。(T.Y.)



- 3) 3.11 から何か私で役に立てることがあったらと思っただけでしたが、結局、国会前で「原発反対」の声をあげることは出来ず、お寺での「今の福島を知ろう」という会には時々参加していましたが、自分の中では歯がゆさばかり。でもこの企画に参加して一つ前に進めたような気がします。(K.O.)
- ①除染廃棄物の処分の状況把握と、②希望の牧場の現場を見る、をこのツアーで得たいと考えていた。①は目標を遥かに上回る成果を得た。和田さんの第一日の夜の説明は秀逸だった。(Y.I.)
- 原発のニュースを通じて覚えてしまった地名。聞いて、見ていただけの地名が実際の現実として改めて迫ってきました。沢山の人がやむなく逃げざるを得なかった場所で、ここで生きていくと決めた方々のお話が本当に切なく、申し訳なく思いました。私もまた「当事者」として生きていく覚悟を持たなくては、と思いました。人が住んでいない家。何も無い（一見きれいに見える）平原がこんなに切ないものとは思いませんでした。河田先生の油菜の里のお話を聞いて、本当に嬉しく思いました。(Y.K.)
- 3) 2年前のいわきに続いて、また福島原発の被害がひどかった所に行くことが出来たのはハカルワカルの地道な活動のおかげと思っただけで感謝しています。「原発反対 福島を忘れない」という掛け声がどこからともなく聞こえてきました。(R.M.)
- 3) 原発以前に仕事の関係で忘れられないことがあります。1980年代の半ば、日本の産業構造の再編の頃、常磐炭鉱が廃鉱の後に大手電気産業がいわき市に進出し、県民の生活水準の低さを利用して、一次下請け、二次下請け工場を作り、信じられない安い工賃を押し付けていた。その実態を調査しました。学生といっしょに一戸一戸ヒアリングに歩きましたが一円単位以下の工賃で、東京の学生のショックは大変なものでした。福島は当時沖縄に次ぐ最貧県だったのです。原発はそうした土壌の上に乗っかって県民の生活水準の向上への潜在的要望を甘言で釣って裏切る結果になったと思います。富めるもの、権力あるものが貧しいものを踏みにじって捨てるという政治がこの原発事故を契機に断ち切らせたいと思います。(S.I.)
- 盛沢山の企画でとても良かった。地元の人のお話を聞くことが出来、福島を見られたのは良かった。(M.N.)
- 3) 今回初めて原発事故周辺の町を訪れた。時々テレビで報じる情報と、なまで見る情報のギャップを感じ、改めて測定することによる事実の大切さを思った。(M.T.)
- 3) 東京で何が出来るのだろうか？ 現地では声を上げることが難しくなっている。福島の声伝える役割の何が出来るのかを考えていきたい。(K.S.)
- 双葉屋女将と原発で働いてきた白鬚さんのお話に、被災地で生きていく方の感情的にならず真摯にむきあう姿勢と芯の強さを感じました。そして、翌朝の河田さんの話を伺って、このような運動を長く続けている方と繋がっているからこそだったのだと、人と人とのつながりの大切さを感じました。河田さんが、これからの夢はと聞かれ、いくつもあげていた楽しそうな表情に私まで気持ちが明るくなるようでした。南相馬の測定室は、地元の人達の要望を受けながらの運営をしていたし、希望の牧場の吉沢さんの何時間でもしゃべってくれそうなパワーはどこから来るのだろうかと感じました。(K.K.)
- 焼却場や処分場も軍需産業がらみですべて金儲けのためと知り、憤りを禁じえません。土地収用に関しても故人でハンコを押せるはずのない地主の承諾書が複数存在したりというでたらめなやり方は、国会で今いろいろなことが露わになっていますが、地方でも起きていることは同じと思いました。また帰還を急がせるのも“事故は大したことない”と見せかけるため、いろいろな構想なども、生活する人の気持ちや要望を無視したひどい政策だとよくわかりました。(T.A.)
- ガラン人影のない所に建つロボットセンターの建物が、異様に大きく現代的なのがかえって切なかった。3) 今回のツアーで福島の人とつながる端緒が作れた気がする。(T.N.)
- 3) 震災前から福島へはたびたび訪れており、今は亡き母との思い出多き土地でした。原発事故のせいで福島の美しい自然が汚されたことに怒りを覚えますが、福島からの電気の恩恵を受けてきた東京の人間として、これからも福島とつながっていきます。(S.U.)





ボランティアスタッフ紹介 イベントチーム

鈴木映子：イベント係の仕事としてやっているのは、測定室以外の会場を使った映画会や講演会、視察ツアー、今はやっていない野外測定会などです。私は実施案を提案し、会場手配や仕事分担などを決め、そのイベントがスムーズに実施できるよう外枠を作っています。

鵜飼暁：ハカルワカルでは様々なイベントを実施していますが、多くの方が自分の得意な分野で貢献してくれているおかげで、イベントを成功させてきたように思います。僕自身は主に映画会における映写係として、与えられた環境の下で映画を出来る限り素晴らしい形で皆さんに観てもらえるよう心がけています。これからもハカルワカルに貢献していけるよう頑張ります。

下笠悦子：仕事としてやっているのは、主に映画会の司会です。なかなか自然エネルギーに移行せず再稼働する原発にイライラや虚しさを感じている、同じ思いや興味がある方々の集まる映画会で「また今日から出来る事」を伝えられるよう心掛けています。

樋谷正勝：主に映画会における当日の各係受付表示札作成と音響・照明を、またイベント時の写真撮影も担当。イベントが成功するよう裏方に徹しています。



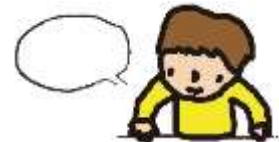
夢を語ろう——あまりに絶望的な時代だから。核兵器も原発も戦争もない時代が必ず来ると！核を持った人類は平和を選ぶしか道はない。世界は一つ！
(夢見るユメコ)

「タクシー運転手」を下高井戸シネマで鑑賞。光州事件の事を何も知らなかった自身を恥じると同時に、真の民主主義を獲得する過程には、平凡で偉大な民衆による残酷な権力との真っ向からの闘いが不可避なんだということを知りました。いつか必ず光州に行こうと決心。(暁)



プランターにシソとバジルを育てている。無農薬で美味しいけど、バッタに先を越されるとレースのように穴だらけ。トホホ。
(有明月)

つぶやき



39度線を超えた。熱い、脳細胞が煮えたぎる。フラフラして気を失いそうだ。その時、木々の緑が目に入る。静かに太陽に向かって葉を広げている。どのようにして温度調節をしているのか。この時期、私は木になりたいあ〜い。(火静人)

測定結果 (2018 年 5 月～2018 年 7 月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134 の初期値は 30Bq/kg 程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量(g)	測定容器(cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
巣箱の苔類	2018.7.1 仕分け	東京都	八王子市緑町	31	500M	2,600.0	520.0	296.0	90.0	シジウカラの巣
土	2018.6	東京都	八王子市館町	1048	1000	379.0	76.0	56.6	11.8	
掃除機のゴミ	2017.12 末	埼玉県	蓮田市	159	1000	369.0	74.0	71.0	19.3	60 分測定
土	2018.5.20	福島県	南会津郡只見町	779	1000	357.0	71.0	61.6	13.4	土壤定点観測
土	2018.6	東京都	八王子市館町	1082	1000	298.0	60.0	45.8	9.8	
土	2018.6.30	東京都	新宿区	553	1000	272.0	54.0	36.0	9.0	土壤定点観測
土	2018.6 中旬	東京都	八王子市	1195	1000	257.0	51.0	44.5	9.6	
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	1023	1000	197.0	39.0	56.3	12.0	館町 E
ゼオライト	2018.6 末	東京都	八王子市中野上町	1007	1000	156.0	31.0	55.8	11.9	中野上町A
側溝の土	2018.6.18	神奈川	横浜市緑区	512	1000	145.0	30.0	29.7	8.2	落葉も入って
土	2018.6.22	東京都	千代田区	1014	1000	141.0	28.0	32.1	7.3	土壤定点観測
土	2018.6	東京都	八王子市館町	1025	1000	133.0	27.0	29.0	6.7	
土	2018.6.28	東京都	世田谷区	608	1000	132.0	27.0	20.6	6.1	土壤定点観測
ゼオライト	2018.5～7	東京都	八王子市川口町	553	1000	130.0	28.0	62.9	14.3	川口町 B
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市小比企町	1084	1000	126.0	25.0	44.7	9.7	小比企町 B、土あり
土	2018.6 中旬	東京都	八王子市	1190	1000	123.0	25.0	29.6	6.8	
ゼオライト	2018.4.25	東京都	八王子市川口町	899	1000	110.0	22.0	49.5	10.9	川口町 B
土	2018.6.6	東京都	稲城市若葉台	1063	1000	79.5	16.1	17.8	4.6	
原木シイタケ	2018.5.5	福島県	いわき市	339	1000	79.3	18.8	11.8	以下	
ゼオライト	2018.6.28	神奈川	相模原市南区	959	1000	74.0	15.9	45.2	10.0	相模原 B
ゼオライト	2018.4.25	東京都	八王子市川口町	959	1000	69.7	15.2	43.8	9.8	川口町 A
ゼオライト	2018.6.28	神奈川	相模原市南区	1072	1000	64.7	13.9	37.5	8.4	相模原 A
ゼオライト	2018.5～7	東京都	八王子市川口町	957	1000	63.0	13.9	45.8	10.1	川口町 A
山の土	2018.6 中旬	東京都	八王子市	1027	1000	57.9	12.3	14.0	4.0	
土	2018.6	東京都	八王子市館町	1185	1000	53.4	11.4	17.3	4.4	
ゼオライト	2018.7	静岡県	御前崎市	945	1000	50.1	11.5	40.9	9.2	御前崎A
ゼオライト	2018.7	静岡県	御前崎市	922	1000	39.0	9.4	39.5	9.0	御前崎B
砂場の砂	2018.5.22	東京都	日野市	1203	1000	37.4	8.5	20.0		
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	865	1000	32.7	8.4	34.8	8.2	館町 B
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	932	1000	32.3	8.2	38.6	8.8	館町 C
砂	2018.6.5	東京都	稲城市若葉台	1398	1000	24.4	5.8	11.4	3.2	
ゼオライト	2018.5.31	静岡県	御前崎市	1097	1000	22.2	6.1	33.4	7.6	御前崎C
原木干し椎茸	2018.6.25 購入	東京都	八王子市	219	1000	22.2	10.5	14.1	以下	60 分測定
ゼオライト	2018.6.3	東京都	八王子市長房町	1051	1000	19.6	5.8	35.4	8.0	長房町 A
ゼオライト	2018.5.1～5.31	静岡県	御前崎市	1103	1000	17.7	5.4	33.2	7.5	御前崎 D
ワラビ(茹で)	2018.5.4	埼玉県	秩父市大滝	355	500M	16.4	6.6	8.4	以下	60 分測定
泥団子の砂	2018.5.22	東京都	日野市	962	1000	16.2	4.9	17.8	4.6	
砂場の砂	2018.5.22	東京都	日野市	1133	1000	16.2	4.6	15.3	4.1	
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	820	1000	15.9	6.2	40.1	9.3	館町 F
ゼオライト	2018.6	東京都	昭島市	948	1000	15.3	5.6	39.1	8.8	昭島 A
ゼオライト	2018.4.25	東京都	八王子市川口町	1047	1000	15.3	5.2	33.7	7.7	川口町 C
土	2018.5.6	東京都	あきる野市	346	1000	13.8	9.6	29.7	10.2	あきる野 B
ゼオライト	2018.5～7	東京都	八王子市川口町	1109	1000	13.6	4.9	33.5	7.6	川口町 D
苔	2018.5.11	山梨県	南都留郡山中湖村	471	1000	12.7	4.9	6.2	以下	60 分測定
竹炭	不明	神奈川	相模原市緑区	359	1000	10.8	7.0	10.4	以下	
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市八日町	1156	1000	9.6	4.2	28.6	6.6	八日町A
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	1039	1000	8.8	4.5	31.3	7.3	館町 D
梅の実	2018.6.10	東京都	八王子市館町	922	1000	8.6	3.2	4.1	以下	
ゼオライト	2018.5.25	東京都	八王子市高尾町	1100	1000	7.6	3.9	28.5	6.6	高尾町A
砂場の砂	2018.5.22	東京都	日野市	1061	1000	6.7	3.3	12.1	3.6	
ゼオライト	2018.5.29～6.28	東京都	八王子市横川町	1087	1000	6.5	4.0	33.6	7.6	横川町 A
土	2018.6.6	東京都	稲城市若葉台	1223	1000	6.1	2.9	7.8	2.8	
ゼオライト	2018.6	東京都	八王子市館町	899	1000	5.4	4.8	37.6	8.6	館町 A
ゼオライト	2018.5.25	東京都	八王子市横川町	1115	1000	4.6	3.9	31.7	7.2	横川町A
ゼオライト	2018.5.29～6.28	東京都	八王子市高尾町	1059	1000	4.5	4.0	32.7	7.5	高尾町 A

ゼオライトの測定結果は、HP の「ゼオライト地点コード表」にてご覧いただけます。



ハカってワかった話

二宮 志郎

シジュウカラ巢の放射能はやはりコケから

前号で シジュウカラの巢の中身から異常に高い放射能が検出されたことを報告しました。その後、7月11日に巢の中身のコケだけより分けて測定しています。その結果、セシウ 137 と 134 合わせて約 2900Bq/kg と出ました。これは巣箱の中身全体を測った時に比べて約 1.7 倍の数値で、高い放射能は鳥が集めたコケから来ていることが確認できました。

高いとは言っても、今回一生懸命より集めたコケは 30g 程度にしかすぎません。「290Bq/kg の土が 300g あるのと同じ程度の放射能ではないか」と思う人がいるかもしれません。

3000Bq/kg が 30g と 300Bq/kg が 300g、どちらが怖い？

そこに含まれている総量の放射能を考えると、 $3000 \times 0.03 = 300 \times 0.3 = 90 \text{ Bq}$ ということになり、同じです。ICRP の基準で考えれば、まるごと全部食べたところで、ほとんど人体に与える影響はないということになります。しかし、シジュウカラはきっと「巨大な体を持つ人間と同じ基準を当てはめられたらかなわない」と言いたいところでしょう。

こういう汚染物質から出てくる放射線の影響をもう少し具体的に考えてみましょう。

低密度汚染だが比重が大きい場合 (300Bq/kg が 300g)

久しぶりにラジ男に登場してもらいます。



土の様なものでは、ラジ男(放射性セシウム)は砂粒の様なものの中に含まれています。ですからラジ男の周りには大きな体積の砂粒に相当する物質があります。そういうラジ男が並んでいる様子が前掲の図です。

ここでラジ男がみんな上に向かって小石を投げていることを仮定します。そうすると、上段列のラジ男の小石は上の方に飛んで来やすそうですが、下段列のラジ男の小石は上の方のラジ男を取り囲む物質に妨害されて上の方まで届きにくそうです。ラジ男を取り囲む物質がどのくらいラジ男の投げた小石を妨害するかによりますが、実際砂粒のような物質は空気に比べてはるかにその妨害効果が大です。

高密度汚染だが比重が小さい場合 (3000Bq/kg が 30g)



この場合、ラジ男の配置は上の図のようになり、ラジ男を取り巻く物質の範囲はかなり狭く、それ以外のところは空気に満たされています。

見て明らかなように、この場合は下段列のラジ男の小石もかなり上の方に飛んで行きそうです。

結局、このラジ男軍団の上において攻撃を受けることを考えれば、後者の方が前者より危険だということになります。

高密度汚染物質はやはり要注意

比重が小さく総量は大きくならないからと言って、高密度汚染物質をあなどるべきではないです。たった 30g とはいっても、そこにくっついて生活するシジュウカラ。ましてや子育てまでもするわけです。影響は決して無視していいものではないでしょう。

注) ラジ男の詳しい話は小冊子「放射能ってなんだろう？」にあります。
ホームページからダウンロードできます。





測定室からのご報告とお知らせ

8月

- * 6月2日(土) 定例お茶会「福島ツアーの事前学習会」 福島現地視察ツアーの前に十分な準備をしていこうと「事前学習会」を行った。福島の実態をモニタリングプロジェクトの資料で報告。また、福島交通事情等について報告。「仮設焼却施設」の2次被ばくの怖れについて報告。福島の実地測定を行っている「ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト」の測定結果はまさしく苦勞の賜物で、南相馬20ミリシーベルト撤回訴訟にも貢献している。せめてとカンパを送ることにした。(参加者19名)
- * 6月16日(土)～17日(日) 福島視察ツアー「福島の今を知ろう」実施 小雨降る中八王子を出発。車窓から、報道でみたよりもフレコンバッグが目に見えて減っているのがみえる。ガランとした草原に立つ現代的な研究施設。線量計が「ピーピー」と鳴る。宿では、和田さんの「仮設焼却施設」の説明や双葉屋の女将さんの「福島で生きる覚悟」を聞く。翌朝の河田昌東先生の福島で生きることを選んだ人たちに寄り添う「菜の花プロジェクト」に心打たれ、私たちは「福島に何ができるか」を考えていた。帰りのバスでは、「福島の普通の方々の生の声が聴けてよかった」、「福島につながる足がかりができたような気がする」の感想も。たくさんの想いと課題を抱えて無事帰着。案内役の高木千恵子さん、和田央子さん、そして心熱い参加者の皆さまに感謝いたします。(参加者24名)
- * 7月7日(土) 定例お茶会 福島現地視察ツアーの反省、報告会 (参加者17名)
- * ゼオライトの測定結果は、HPの「ゼオライト地点コード表」にてご覧いただけます。

これからの予定

- * 夏季閉室 8月11日(土)～20日(月)
- * 9月1日(土) 定例お茶会「原発輸出を考える」
- * 10月6日(土)「ハカルワカル映画会」(上映作品は未定)

新企画—募集します!!!

- * 公園のお散歩測定会、若者対象の放射能学習会など、ご要望を募集中!
- * つぶやき募集! ハカルワカル広場だよりに、維持会員のみなさんの自由投稿によるつぶやきコーナーを新設します。「つぶやきコーナー投稿」と題して、100文字程度、掲載は一つの号につき一人一回、ニックネームでの投稿可(ただし投稿するときは本名も記入)。ハカルワカル宛にメール、はがき、メモで来室時に持参、などで。投稿はお一人何回でもO.K.で、採否は編集部におまかせ下さい。どんなことでも、気軽に投稿をおねがいします。面白いの、まじめなの、長短、多様な投稿をお待ちしております!

おしらせ

- * 安定ヨウ素剤配布会を実施します!
とき: 11月10日(土) 午後1時、午後2時30分
場所: ハカルワカル広場
申込期間: 9月4日～10月31日 電話、HPで申し込み
定員: 40家族 錠剤は無料 パンフレット(300円)のご購入をお願いします。
山田真医師が診察の上配布されます。詳しくはチラシ参照
- * 中村敦夫「線量計が鳴る」公演決定!
とき: 12月2日(日) 午後2時開演
場所: 北野市民センターホール
前売り: 1500円 当日: 2000円
お申し込みはお電話かメールでハカルワカル広場へ。
詳しくはチラシ参照

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場
お電話 問合せ ☎192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
042-686-0820
HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中!
お問い合わせはハカルワカル広場まで
寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、
ゆうちょ銀行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)